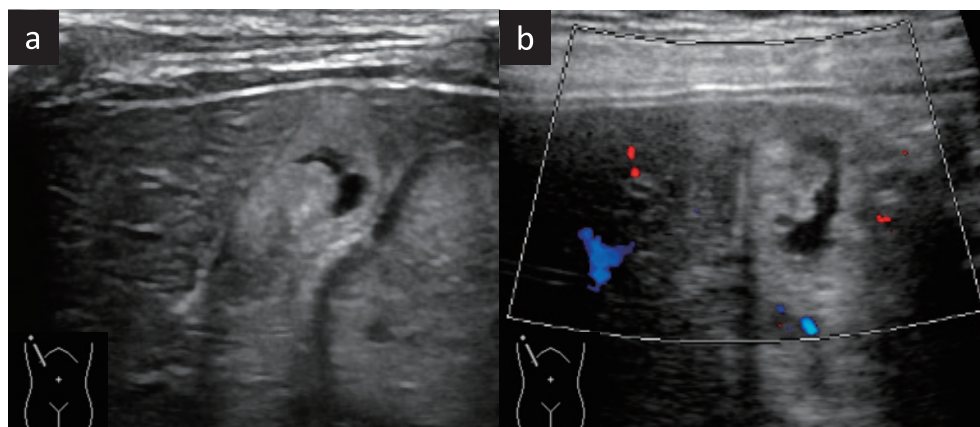


## 異染性白質ジストロフィーの小児に発生した胆嚢病変

古川 智子<sup>1</sup> 近藤 良明<sup>2</sup> 中野 幸一<sup>3</sup>

**Fig. 1** 腹部超音波検査斜矢状断像. **a** 3歳時. 不規則な胆嚢壁肥厚を認め, 内腔側に隆起を伴っている. **b** 8歳時のカラードプラ像. 胆嚢壁肥厚や隆起に著変なく, 血流信号は認めない



異染性白質ジストロフィーの女児. 3歳時に胆嚢病変検索目的で施行した超音波検査にて, 厚さ1–3 mmの不規則な胆嚢壁肥厚を認めた. 漿膜側の輪郭は整で, 内腔側には凹凸がみられ, 径9×5 mm大の隆起を伴っていた (**Fig. 1 a**). 症状はなく, 超音波検査で経過観察を継続した. 8歳時の超音波検査では, 胆嚢壁は厚さ1–3 mm, 内腔側の隆起は径8×7 mm大で増大はなく, カラードプラにて血流信号は認めなかった (**Fig. 1 b**).

異染性白質ジストロフィーではスルファチドの蓄積に伴う種々の胆嚢病変発生が報告されている. 腹痛や出血など様々な症状を呈して, 時に外科的治療も必要となる. 病理組織学的には, 過形成性ポリープや腸上皮化生, Rokitansky-Aschoff 洞増生, スルファチド蓄積などがある<sup>1)</sup>. 稀ではあるが胆嚢癌の発生も報告されており, 多量の腹水を伴う大きな腫瘤は胆嚢癌の可能性を示唆する超音波所見とされる<sup>2)</sup>. 異染性白質ジストロフィー患者の胆嚢病変に

よる死亡を防ぐために, 超音波検査での経過観察が推奨される. 悪性化の可能性を念頭に置き, 胆嚢病変の増大傾向や腹水の出現などに注意して鑑別診断することが重要である. 本例は胆嚢病変の増大や腹水の出現を認めず, 良性ポリープを伴うスルファチド蓄積が主たる病理組織像と推定される.

## 倫理規定

本症例報告は, 倫理的な問題がなく, 発表においては患者の匿名化を十分行っています.

## 利益相反

著者全員が, 本論文に関わる研究に関して利益相反はありません.

## 文 献

- 1) van Rappard DF, Bugiani M, Boelens JJ, et al. Gallbladder and the risk of polyps and carcinoma in metachromatic leukodystrophy. *Neurology*. 2016;87:

Gallbladder abnormality in a child with metachromatic leukodystrophy

Keywords: metachromatic leukodystrophy, gallbladder, ultrasonography

<sup>1</sup>長野県立病院機構本部画像診断センター, <sup>2</sup>長野県立こども病院放射線科, <sup>3</sup>長野県立木曾病院放射線技術科

Tomoko FURUKAWA<sup>1</sup>, Yoshiaki KONDO, SJSUM<sup>2</sup>, Koichi NAKANO, RMS<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Headquarters Diagnostic Imaging Center, Nagano Prefectural Hospital Organization, 3100 Toyoshina, Azumino, Nagano 399-8288, Japan,

<sup>2</sup>Department of Radiology, Nagano Children's Hospital, 3100 Toyoshina, Azumino, Nagano 399-8288, Japan, <sup>3</sup>Department of Radiological technology, Nagano Prefectural Kiso Hospital, 6613-4 Fukushima, Kisomachi, Nagano 397-8555, Japan

Corresponding Author: Tomoko FURUKAWA (tomoko-furukawa@nkokodomo-hsp.jp)

Received on August 5, 2021; Revision accepted on October 5, 2021 J-STAGE. Advanced published. date: November 1, 2021